

幼稚園自己評価をするための保護者アンケートの結果

2024年3月

園長 副島 由美子

この度は、保護者アンケートにお答えいただきありがとうございました。世帯数の60パーセントの回答をいただきました。下記の1に示された ①なっている ②ほぼなっている ③なっていないについては、ほぼ全員の方から、「なっている」との回答をいただきました。

記述欄にも、これまた心温まるご意見や励ましをいただきました。重複する内容は割愛させていただきながらも、なるだけの意見や希望を書かせて頂きました。すべてに目を通しながら、いつもながらに、力になる励ましやご理解をいただけたこと、嬉しい限りです。尚、この結果につきましては、今後、ホームページに掲載したり、職員会議や理事会で討議し今後の幼稚園運営に生かしていく所存です。ご協力ありがとうございました。

1 園の教育目標やめざす子ども像に適した教育・保育内容であるか？

○園庭・神社の森・園外・・・と自然あふれる中（畑・動物・樹々・草花・虫・泥・水・・・）で、のびのび暮らし、やりたいことをとことんやれる子どもたちは幸せである。子どもたちのキラキラした顔が満たされている証拠だと思う。○縦割り保育で、多様な友達と多様な関わりを通じて学べる体験は、近所に同年代の子が少ない中、とても良い保育である。すべて「教育」として教える園が増える中、その子のペースや考えを大切にしながら、友達とのあそびの中で考え、協力しあい発見をしていくのは、無理矢理感がなく楽しんで受け入れやすいと思う。○登園したら園庭で自由に遊ぶ子どもたち。土を掘ったり運んだり、水を運んだりいろいろな姿が見られます。子どもたちが、自然に集まり会話が生まれ自然に友達になっていくのだと思う。ずっと続く川工事で、土にはいろいろな色があることや感想すると変色するなど発見を嬉しそうに教えてくれた。○園生活の中に、一人一人に役割がありそれを友達と交流しあいながら進めていくことが出来てよかった。○姉が小学生になり、池の川の教育理念の素晴らしさを実感。自然との触れ合いは、子どもの育ちにとっても大切、集中力やぐんと伸びる力がついた○どの子にもという自由な感じで個性を大切にしてくれる教育理念は素晴らしい。○日常生活を大事にしてください感謝。こどもにとって、居心地よく楽しく安全な場であり、理念の中にある「友達」との過ごし方で、日々多くの事を学んだ。学ばされているとか教育されているとか、保育中であるということも意識されなくらい、様々なことを自然に取り入れ受け入れられ、発せられた3年間でした。○ハンディのある子、外国ルーツのある子も皆が一緒に遊び子ども自身もそれが当たり前と感じている。自然に触れあいながら、お互いを尊重する生活が送れたことを嬉しく感じる。○好きな遊びを存分にすることで、「やりたい」という強い気持ちを見守ってもらえ、自己肯定感が上がり、自信をもって前向きに生活する姿が見られるようになる。○「理念を真ん中にして個性が繋がることでチームが成長する」という、青山学院駅伝部の原監督のことばを聞いた時「池の川幼稚園」の事だと思った。○子どものやりたい、やってみたいこと事がやらせてくれ広げてくれることで、遊び方が広がる。○ひとりひとりを大切に、その子その子に寄り添って子どもの個性や特性を見守り温かい保育をしている。○異年齢児の交流を通じて学ぶことが多く、年長としての責任感やリーダーシップ、折り合う心が養われた。○保育理念の通り、先生方は全ての子どもに平等に接して下さり、どの活動にも同じように参加する、できることが尊いと感じた。○自然な異年齢交流が出来ている。

2、行事について

日常生活と同様、行事も年齢にふさわしい参加や取り組みが出来、かつ子どもたちが主人公になることに心掛け

て取り組んできました。お子さんからの話や様子、クラスだより等で知ることが多かったとは思いますが、保護者の方々から見ていかがでしたか。感想や行事にまつわるエピソード等ありましたらお伝えください。

○お皿を作った親子ふれあいデイが楽しかった。自分で作ったお皿に愛着を持って使っている。○年間を通して、季節を感じ自然に親しめる行事が多く、とても楽しんでた。○年長が任される鯉のぼり製作・子ども夏祭りの運営では我が子が張り切っていて頼もしかった。○年長お泊り保育、海での磯遊びと漁港体験が刺激になって、海やその周りの環境に興味を持つようになった。○クリスマス会ではファンタジーの世界を楽しんだ。○行事ごとに友達との絆が深まるのを感じた。○「ドキドキするけど頑張ってみる」という経験をお泊り保育や童謡のつどいに参加することで味わい、そのプロセスややり遂げたことで感じた感情を言語化出来たことに成長を感じた。○行事がその日だけのものではなく、日々の保育と繋がっているのを感じる。

(例・節分) ○どの行事も、子どもたちの興味や遊びから発展していき楽しんで取り組んでいたと思う。子どもたちは勿論、先生方も楽しそうにしているのは微笑ましい。○手作り感があり、いろいろな発想をしたり友達と協力している様子を見ると成長を感じて嬉しい。○普段の生活でも大根を掘って食べたりする食育が、自然な流れの園生活が出来ている。○いつもの生活が見られ、当日上手いかずとも、その前後で何度もチャレンジできる運動会がいい。○コロナ禍にもかかわらず、多くの交流の場を設けて下さりご苦労が絶えなかったと思う。年長としてこれまで見ていたことを、今年度は自分でやれたという喜びと自信は、役割という責任を請け負い得られた財産である。○子どもたちの発案からのハッピーハウスの設立は夢のある素晴らしい企画だと思う。子どもが主役で楽しめる行事には同感。これからもこのスタイルで続けてほしい。○日曜日に実施した保育参観は父親が参加できてよかった。○収穫から料理をして食すというお芋パーティーは、食べ物の流れが子どもたちにわかりやすく伝わっていいなと思った。食の幅が広がった。○同じ行事を行うにしても、年少・中・長と取り組む内容が異なることで、作品を作るという面でも心に感じる面でも、共に成長を感じる。○おもちつきは貴重な体験である○日本の文化を大切にしてくれるおかげで、卒園した姉たちも、年中行事の時期になると、家で準備したり、節分にイワシを食べたいとリクエストしてきたりと自然に身体に身につき良い思い出として根付いているのを感じる。○「大人がやらせたいこと」ではなく、「子どもが主体となりやりたいこと」を日々発見して伸ばしていると感じている。

3 保護者の方との相互理解をはかるための取り組みについて

教育・保育にとって、保護者との連携や相互理解・信頼関係は欠かせません。そのための一助になることを願って、保育参加や参観・個別面談やクラス懇談会・クラスだより・園長だより・ざっくばらんの会・父母会活動があります。こうした取り組みへの感想やご意見ご要望がありましたらご記入下さい。

○お父さんのためのざっくばらんの会を望む。ざっくばらんの会は有意義。同窓会ざっくばらんの会も定期的開催継続を願う。○子どもの様子を見ることができたり、不安があるとプロに相談が出来たり素晴らしい。○定期的に交流の場を設けて頂き感謝。悩みが軽くなり心の持ちようが変わり楽になる。○まめに発行してくれるクラスだよりは、親子で楽しみ親子の会話の手掛かりになる。我が子の成長記録であり私の宝物である。○送迎時や個別面談で日々の様子を伝えてもらい嬉しい。○仕事をしている人でも、活動しやすい役員の活動になってほしい。○父母間の交流や信頼があつてこそ、子どもも安心して園生活が送れると思う。他園にはない「園と家庭が繋がる」雰囲気だと思う。○先生方に話を聞いていただき力になった○保育参観・クラスだよりは子どもの園生活がよくわかり、楽しみにしている。手書きのお便りは味があつてよい。○園長ブログ 素敵である、楽しみにしている。○保育参観はいつも楽しみである。カリキュラムがしっかり組まれており、子どもたちの活動に感心させられる。○園バス利用でも、クラスだよりや園長だよりで、子どもの話だけでは分からないことが分かり家庭とは違う一面を知ることが出来有り難い。我が子の事をどの先

生も知っていることが嬉しかった。母親にとっても楽しい園生活でした。○同好会や委員会活動では、学年を超えた繋がりや情報交換や育児の悩みを相談出来た。○「出来る人が出来る時に・・・」の同好会活動や委員会活動、より良い園生活のための続けてほしい。○原口先生を囲んでの絵本の研修会は勉強になった。

4、その他幼稚園に対する希望や意見

○玄関口に意見箱があると口では言いにくいことも発言できる。○同窓会で友達や先生方にあえる機会があるのは嬉しい。○のんびり組は、数百円でも月謝を取った方が参加率が上がると思う。その代わり少しのおやつを出す・・・とか。○運動会の観覧席に、祖父母や妊婦用に椅子や日除け0Kの場所があると良いのでは。○蓋がすぐ開く排水口が危ないと感じる何らかの手立てを。○園バスにバス位置情報システムがあれば便利だと思う。○園での様子を動画に残せる機会がもっとあるといいなと思うがプライバシー保護上難しいのかな。○第3～第2駐車場に向かうT字路にミラーをつけてほしい。○メリールームに電子ピアノがあると良い。第2駐車場側の窓に安全冊があると安心。○感染症等の欠席情報がほしい。○欠席の連絡をアプリやメールで出来ると嬉しい。○いつも全力で向き合ってくれる先生、個性豊かでおおらかなお母さん方、好奇心旺盛でパワフルな子どもたち。それぞれの違いを認め尊重し合っているからこそ、子どもも親も存分に園生活を楽しめ、人として大切なことをたくさん学べたと思う。○今の保育が続くことを願う。時の流れで変わる部分があっても、子どもたちを見つめる先生方の優しいまなざしはそのままであってほしい。子どもにとっても親にとっても、池の川幼稚園は故郷です。○親子ともども寄り添ってくれたことは、人生の根っ子になっていくと思う。○仕事をしているため、池の川幼稚園には入れたくても入れられないという方がいます。こども園にはならないのか。○池の川幼稚園を知らない方は、「配慮を要する子を多く受け入れている」=「健常児は我慢が多い」と思うようなので、もしホームページ等不特定多数の方の目に触れるなら、「障害児も健常児も関係なく、どの子も丁寧に見てくれる幼稚園です」とお伝えしたいです。